

一貫中等部 修了式・立志式が行われました。

3月20日（火）に一貫中等部の修了式・立志式が第2講堂で行われました。

修了式・立志式は一貫中等部で年度の締めくくりに行われる行事です。特に立志式は、学園創立者の越原春子先生が、十五歳の春に小学校の教壇に立ち、夢であった教職への道を始められたことに因んで行われる本校独自の式です。

修了式では、校長先生より一貫3年生には卒業証書を、1・2年生には修了証を各学年の代表生徒に渡されました。また、皆勤、精勤の生徒には賞状が渡され、その後校長先生よりこの一年の締めくくりとなる話がなされました。続いて行われた立志式では、中学3年生が半年をかけて作成した、将来への夢や希望を文章にした立志の発表が行われました。立志式で発表するのは代表生徒のみですが、中学3年生の生徒全員分の立志は冊子「もえのぼる立志」となって残ります。立志の発表の後、副学園長先生より中学3年生に向けて励ましの言葉を頂きました。

一貫中学課程では、そのまま高校課程に進学となりますので、中学卒業式は行われません。しかし、中学3年時点での将来の夢や希望、また、感じていることを文章にして残すことには大きな意味があると思います。今後、挫折そうになったり壁に当たったりしたときには、「もえのぼる立志」を読み返して思いを新たにしてもらえればと思います。

校長先生より修了証を受け取りました。



副学園長先生より励ましの言葉を頂きました。



代表生徒による立志の発表です。

